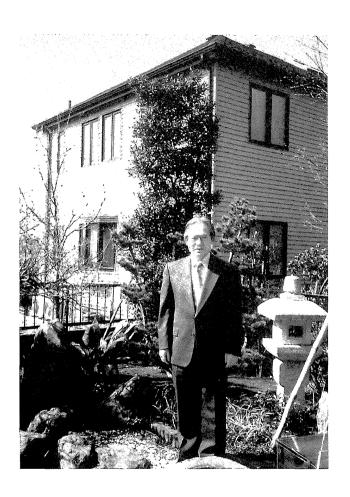
阿部軍治先生退官記念



阿部軍治教授 略歴・研究業績

【略歷】

1939年5月16日 宮城県に生まれる

1960~1963年 日本電信電話公社に勤務

1967年3月 早稲田大学第一文学部露文科卒業

1969年3月 早稲田大学大学院文学研究科ロシア文学専攻修士課程修了

1972~1973年 モスクワ大学 (ロシア連邦) に約1年間留学

1973年3月 早稲田大学大学院文学研究科ロシア文学専攻博士課程単

位取得退学

1973年10月 慶応義塾大学法学部講師(非常勤)

1974年4月 慶応義塾大学語学視聴覚研究室講師(非常勤)

 1975年6月
 筑波大学現代語・現代文化学系講師

 1986年4月
 筑波大学現代語・現代文化学系助教授

 1992年3月
 筑波大学現代語・現代文化学系教授

1996年4月~2000年3月 筑波大学現代語・現代文化学系長(大学評議員)

1999年3月 博士(文学)号取得(筑波大学)

2000年4月~2002年3月 筑波大学外国語センター長

【研究業績一覧】

著 書

- 1. 『現代ロシア語の基礎』(共著), 大学書林、1976年4月.
- 2.『初級現代ロシア語読本』(共著)、大学書林、1977年4月。
- 3. 『(ポケット) ロシア語会話』大学書林, 1978年3月.
- 4. 『ロシア語基本文1000』(共著) 大学書林, 1979年1月.
- 5. 『ロシア語会話練習帳』(共著)大学書林、1988年8月、
- 6.『徳富蘆花とトルストイ――日露文学交流の足跡――』彩流社,1989年4月,全300頁.
- 7. 『ペレストロイカの文学――現代ソビエトの文学闘争――』彩流社, 1990年7 月, 全372頁.
- 8. 『ソ連社会の行方――ペレストロイカの残したもの――』彩流社, 1991年9月, 全461頁.
- 9. 『(世界・日本) キリスト教文学辞典』(共著) (ロシア部門の項目選択・編集責

- 任者) ドストエフスキー、トルストイ、ツルゲーネフ、ロシア文学等35項目を 分担執筆、教文館、1994年3月、
- 10. 『バフチンを考える――ミハイル・バフチンの総合的研究』共著, 筑波大学現代語・現代文化学系, 1995年 3 月.
- 11. 『バフチンを読む』編著・共著、日本放送出版協会、1997年12月、全体の統括 と序論、第1章「バフチンのポリフォニー小説論」、第8章「ミハイル・バフ チンの生涯と創作」等を担当.
- 12. 『ソ連邦崩壊と文学――ロシア文学の興隆と低迷――』彩流社,1998年2月,全403頁.

訳書·訳注書

- 1. B. ブールソフ著『ドストエーフスキイの個性』上巻(共訳), 理想社, 1971年 12月
- 2. B. ブールソフ著『ドストエーフスキイの個性』下巻(共訳), 理想社, 1972年 5月
- 3. A. チェーホフ著『谷間』訳注・解説付き、大学書林、1982年1月。
- 4. L. トルストイ著『コサック』訳注・解説付き, 大学書林, 1984年1月.

学術論文

- 1. ソルジェニーツイン, ロシアへの回帰『流動』第6巻第7号, 244~258頁, 1974 年7月.
- 2. ロシア語における原因を表わす前置詞『教養論叢』(慶応大学法学部紀要)第40号,53~65頁,1975年1月.
- 3. アンナとレーヴィンの悲劇——『アンナ・カレーニナ』より『世界文学の人間像』(神原達夫編), 荒竹出版, 115~136頁, 1979年1月.
- 4. ロシア語動詞過去時制の変遷『言語文化論集』第6号,89~104頁,1979年3 月
- 5. 地下室人からラスコーリニコフへ『理想』第552号, 69~82頁, 1979年5月.
- 6. 古代スラブ語・古代ロシア語の未来時制『言語文化論集』第8号,59~74頁, 1980年1月.
- 7. サジェストペジアによる外国語教育法について『外国語教育論集』第1集, 147~159頁, 1980年3月.
- 8. ロシア語動詞の体の対における諸問題『言語文化論集』第10号, 103~127頁, 1981年 3 月.

- 9. 『コサック』におけるトルストイの表現方法『言語文化論集』第13号, 25~46頁, 1982年10月.
- 10. 否定のなかのロシア文学『言語文化論集』第14号, 15~26頁, 1983年3月.
- 11. 『戦争と平和』の風景描写とその語法『言語文化論集』第15号, 293~305頁, 1983 年9月
- 12. 『戦争と平和』の内面描写とその語法『言語文化論集』第16号, 127~152頁, 1984 年9月.
- 13. トルストイの宗教思想 (一) 『戦争と平和』を中心として『比較文化』第 1号,119~137頁,1985年3月.
- 14. 徳富蘆花におけるトルストイの影響――トルストイ訪問前後の不分明部分について『言語文化論集』第18号,243~276頁,1985年9月.
- 15. 近代文学黎明期のトルストイ移入と蘆花『言語文化論集』第19号, 147~158頁, 1986年 3 月. (1986年『国文学年次別論文集』に転載)
- 16. トルストイを訪れた日本人達をめぐって(上)『ロシア手帖』第22号, 48~52頁, 1986年 6 月.
- 17. トルストイを訪れた日本人達をめぐって(下)『ロシア手帖』第23号,42~46頁,1986年12月.
- 18. 徳富蘆花とトルストイの自然描写『言語文化論集』第20号, 149~161頁, 1986 年9月.
- 19. 明治二十年代後半の蘆花のトルストイ受容——主に彼の『トルストイ』を中心 として『言語文化論集』第22号,153~169頁,1987年3月.
- 20. Религиозная мысль Толстого (2) —— Некоторые соображения по поводу религиозных вопросов в романе «Анна Каренина» [言語文化論集』第23号,65~81頁,1987年7月.
- 21. 1870年代中頃のトルストイの思想『言語文化論集』第26号, 111~123頁, 1988 年7月.
- 22. Арго в языке советской молодежи 『外国語教育論集』(共著)第12号, 273~285 頁, 1990年 3 月.
- 23. Некоторые соображения по поводу переворотов во взглядах Л. Толстого [地域研究』第8号、257~273頁、1990年3月、
- 24. Новые явления в советской газете в период Перестройки 『紀要』 (慶応大学語学視聴覚教育研究室) (共著) 第23号, 1~12頁, 1990年7月.
- 25. 楽しく学ぶ外国語学習法――サジェストペディアによる会話コース『紀要』(慶応大学語学視聴覚教育研究室)(共著)第24号,1~21頁,1991年7月.

- 26. ソ連邦崩壊期における文学の諸問題『ロシア研究』(日本国際問題研究所) 第 15号, 98~115頁, 1992年10月.
- 27. 徳富蘆花のトルストイ夫妻宛書簡の原本『言語文化論集』第36号, 189~214 頁, 1992年9月. (『国文学年次別論文集』に転載)
- 28. 徳富蘇峰とトルストイの交渉『言語文化論集』第37号,47~71頁,1993年3月.(『国文学年次別論文集』に転載)
- 29. ソ連邦崩壊と文学界——文学闘争と文学界の低迷『ソ連・東欧学会年報』第21 号、31~41頁、1993年 6 月.
- 30. ソ連邦崩壊期におけるロシア文学の新しい諸傾向をめぐって『言語文化論集』 第38号、77~90頁、1994年4月。
- 31. バフチンのトルストイ論についての一考察『文学研究論集』(文芸言語研究科)第 12号、1~15頁、1995年3月、
- 32. ソ連崩壊と文学環境の変化『言語文化論集』第41号, 135~153頁, 1995年7月.
- 33. ロシア正教会の復活とその諸問題『ソ連·東欧学会年報』第24号,103~109頁, 1996年4月.
- 34. ロシアにおける新旧の諸宗派『ユーラシア』第12号, 61~62頁, 1996年7月,
- 35. 徳富蘆花の自然文学と自然観『環境情報科学』(環境情報科学センター発行) 第25巻 3 号、48~49頁、1996年 7 月.
- 36. 武者小路実篤とトルストイ(その一)『言語文化論集』第44号,231~254頁,1997 年1月.(『国文学年次別論文集』に転載)
- 37. ロシア文学の世紀末の変貌について『ロシア研究の伝統と最前線』(早稲田大学文学部ロシア文学専修発行), 167~171頁, 1997年3月.
- 38. Интересы России на Балканах Уроки Константина Леонтьева 『ロシア・東欧学会年報』(共著)第25号、107~117頁、1997年4月.
- 39. 武者小路実篤とトルストイ(その二)『言語文化論集』第45号, 185~208頁, 1997 年7月. (『国文学年次別論文集』に転載)
- 40. 武者小路実篤とトルストイ(その三)『言語文化論集』第48号, 119~164頁, 1998 年9月 (『国文学年次別論文集』に転載)
- 41. 武者小路実篤とトルストイ(その四)――〈新しき村〉を中心として『言語文化論 集』第49号、325~390頁、1999年1月、
- 42. 有島武郎におけるトルストイ『植民地主義とアジアの表象』 筑波大学文化批評 研究会、241~278頁、1999年 3 月.
- 43. On the roots of Eurasianism: the epilogue of Leo Tolstoy's "Anna Karenina" and "Byzantinism and Slavdom" of Konstantin Leontiev 『言語文化論集』 (共著)

- 第52号, 241~262頁, 2000年1月.
- 44. 相馬御風とトルストイ『多文化社会における<翻訳>』筑波大学文化批評研究 会、257~273頁、2000年 6 月.
- 45. Евразийство и общественно-политическая мысль сегодняшней России 『地域研究』 第19号、1~40頁、2001年 3 月

辞典等

- 1. 梅棹忠夫・他監修『世界歴史大事典』項目分担執筆(ツルゲーネフ、ショーロホフ、ソルジェニーツィン、他20項目)、教育出版センター、1985年8月、
- 2.『和露分類語彙集』(テーマ別和露分類小辞典)(共著),大学書林、全325頁, 1981年8月.
- 3. 東郷正延・他編『研究社露和辞典』分担校閱・校正、研究社、1988年9月.

論文・評論

- 1. ソヴェート批評界の異端『図書新聞』第1252号,6頁全面(原稿用紙約20枚), 1974年3月.
- 2. 原卓也『スターリン批判とソビエト文学』(書評)『流動』第6巻第5号, 257 ~259頁, 1974年5月.
- 3. ソ連における新旧の外国語教授法論争をめぐって『らば通信』(慶応大学語学 視聴覚研究室), No.53、4~7頁, 1975年9月.
- 4. 蘆花のトルストイ宛書簡(上)『日本古書通信』675号、6~8頁、1985年10月、
- 5. 蘆花のトルストイ宛書簡(中)『日本古書通信』676号、3~5頁,1985年11月。
- 6. 蘆花のトルストイ宛書簡(下)『日本古書通信』677号, 8~9頁, 1985年12月,
- 7. アンドレイ·サハロフ『UTAN』(学習研究社) 第11巻 1 号, 108~113頁, 1992年 1 月.
- 8. グラーニン『ズブール』(書評)『週刊読書人』、1992年4月.
- 9. ソ連崩壊と15の国の誕生『地理月報』No.398号外、1~3頁. 1992年5月.
- 10. ソ連崩壊とロシア文学界の低迷『朝日新聞』38446号(1993年2月9日夕刊), 11頁.
- 11. 日ソ合作映画に参加して(上)『筑波大学新聞』第153号、1993年11月.
- 12. 日ソ合作映画に参加して(下)『筑波大学新聞』第154号, 1993年12月,
- 13. 高橋保行著『迫害下のロシア教会』(書評)『ユーラシア研究』第13号, 61~62 頁, 1996年10月.
- 14. 日本におけるトルストイアン『日本トルストイ協会報』No.5, 3~15頁, 1998年 4

月.

- 15. 柳富子編著『ロシア文化の森――比較文化の総合研究――』『比較文学』日本 比較文学学会誌(書評)、第44巻、125~129頁、2001年度
- 16. 日本の外国語教育の貧困を思う『外国語教育論集』第24号, 1~6頁, 2002年3月.

翻訳

- 1. ガイダール「空色の茶わん」『ソヴェート文学』(ソヴェート文学研究会) 第28 号, 65~85頁, 1969年11月.
- 2. ナギービン「大きな運命についての小さな話」『ソヴェート文学』(ソヴェート 文学研究会)第28号、77~90頁、1970年2月.
- 3. アントーノフ「女図書館員」『ソヴェート文学』(ソヴェート文学研究会) 第35号, 64~72頁, 1971年 3月.
- 4. アントーノフ「ルーシャおばさん」『ソヴェート文学』(ソヴェート文学研究会) 第42号、64~72頁、1971年 3 月、
- 5. ナギービン「わたしの最初の友、わたしのかけがいのない友」『ソヴェート文学』 (ソヴェート文学研究会)第49号、144~164頁、1974年10月.
- 6. ブールソフ「プーシキンの運命」『ソヴェート文学』(ソヴェート文学研究会) 第59号、169~189頁、1977年3月.
- 7. ナギービン「他人の女」『ソヴェート文学』(ソヴェート文学研究会)第62号, 14~56頁,1977年12月.
- 8. アスターフィエフ「しずく」『ソヴェート文学』(ソヴェート文学研究会) 第76 号, 99~126頁, 1981年6月.
- 9. ナギービン「冬の樫」『ソヴェート文学』(ソヴェート文学研究会) 第89号, 70 ~80頁, 1984年9月,
- 10. ブールソフ「ロシア文学の奇跡」『ソヴェート文学』(ソヴェート文学研究会) 第99号、243~256頁、1987年 4 月、

その他

- 1. 目がはなせないソ連情勢『筑波大学新聞』第135号, 4頁, 1991年9月.
- 2. 歴史的大変動期におけるロシア研究『涛聲』, 208頁, 1993年11月.
- 3. 革命と文学『民衆と改革』(『歴史学事典』第4巻) 弘文堂, 1996年12月.